

カメルーン★どうでしょう

2023年9月
カメルーン通信 No.11
JICA 海外協力隊
出町 卓也

Je me suis amusé dans la nature et au festival.

Bonjour ! カメルーンからでまちです。カメルーンは9月から新年度がスタートしました。新しい学年に進級した子どもたちは、少し大人びたように感じます。「よく戻ってきたね！」と挨拶し合う先生や子どもたち。しかし、まだ全員が登校しているわけではありません。長いバカンス中、町から離れていた子どもたちが多いからです。9月前半にかけてだんだん戻ってくる、と先生たちは話していました。私は今年度も引き続き英語の授業を中心に活動する予定です。これからどんな授業を一緒に創っていただけるのか、楽しみです。



新しいノートに名前と学年を書きます。好きなノートの表紙で気持ちも高まりますね。

◇自然の大きさを満喫。



さて、先月がバカンス最後の月になったわけですが、この期間を使って、首都の近くにある町へ川下りのアクティビティに行ってきました。



『ランボルギーニ』と名付けられた渡し船はイスが2つ載せられたシンプルなつくりで、漕ぎ手の巧みな操縦でゆっくり川を下りました。おかげで安心して景色を楽しむことができました。

今回のお目当ては「Kossippo」と呼ばれる、樹齢1,300歳を越える大木をみることです。1時間ほど下り、森に入った先にそびえ立つその大木の周囲は8メートルもあり、高さは84メートルもあるとか。真下に立つとその大きさに圧倒されました。川の広さもそうでしたが、自然の雄大さを一心に感じ、気持ちが穏やかになった時間でした。



◇言語を越えて、文化を楽しむ。

自然に触れるだけでなく、何年ぶりかにライブにも参戦してきました。このライブは、首都で開催された『OTAKU フェスティバル』内のイベントの一つとして行われたものです。過去の通信で紹介した日本祭は日本大使館の主催でしたが、今回の主催はカメルーン人の団体です。私たちも日本食や書道、浴衣のブースを出し、多くの人でにぎわいました。

メインステージでは、カラオケ大会やバンド演奏が行われ、『推しの子』主題歌や、『進撃の巨人』主題歌などが流れ、みんなで歌いました。もちろん日本語の歌詞です。日本人の自分たちよりアニメに詳しいのではないか、と思うくらいの彼らの知識量。意味をフランス語で確認しながら、歌詞をローマ字表記にして歌い盛り上がる姿。来年もぜひ顔を出したいと思います。



一方、日本武道に親しむ人たちのステージもありました。合気道、柔道、空手、そして剣道。このフェスティバルで偶然に剣道関係者と知り合うことができました。

この日をきっかけに、後日彼らの道場を訪問することに。青いビニールを敷いた床、使い込まれた道具。「面、小手、胴」と発声しながら素振りをするカメルーン剣士たち。聞けば、日本人が指導していたわけではなく、ネットの動画を参考にしたり、他武道の人たちと一緒に日本語の数字を学んだりしながら、稽古を積んできたとのこと。その腕も素晴らしく、日々の稽古の跡を感じました。私自身も久しぶりに稽古することができて、楽しい時間になりました。道場は首都にあるため、私の任地と距離はありますが、今後も交流を続ける予定です。

日本のポップカルチャーをこよなく愛する『OTAKU』のカメルーン人、日本の武道に精進するカメルーン人。言語の違いをものともせず、文化そのものを楽しむ彼らの姿から、文化は言葉を越えて、交流していくことを体感した時間でした。

カメルーンに来て、もうすぐ1年になろうとしています。まだまだ知らないこと気付いていないことに溢れています。次は何に会うのが楽しみです。それでは、A bientôt !